

令和元年度富山県総合防災訓練の実施について

令和元年9月4日
防災・危機管理課

1 目的

災害発生時における迅速かつ的確な防災活動の実施や県民の防災意識の向上を図るため、国の機関、市町村、広域応援協定を締結している他県や団体、防災関係機関、自主防災組織、ボランティア団体並びに地域住民等の参加のもとに、近年の全国各地の大規模災害等を踏まえた新たな訓練項目を拡充し、実践的な総合防災訓練を実施します。

2 概要

(1) 日時 9月29日(日) 8:30~12:00(予定)

(2) 場所 全9会場

入善町2会場 (入善会場(入善町総合体育館周辺)、黒東小学校会場)

黒部市3会場 (堀切会場(黒部市総合公園周辺)、宇奈月中学校会場、黒部消防署会場)

朝日町4会場 (やまざき紅悠館会場、泊会場(あさひ総合病院周辺)、
宮崎会場(宮崎漁港周辺)、朝日町文化体育センター(サンリーナ)会場)

(3) 主催 富山県、入善町、黒部市、朝日町

(4) 主な被害想定

① 「魚津断層帯」を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生

入善町、黒部市で震度7、朝日町で震度6強を観測

⇒地震により建物倒壊、火災の発生、ライフラインの損壊、道路寸断、沿岸部で津波発生のおそれ

② 県東部から新潟県にかけて広域豪雨が発生

⇒黒部川流域では増水、山間部で土砂災害、孤立集落の発生

3 訓練の主なポイント

- | | |
|---------------------------------|-----------|
| ・関係機関連携による減災のための情報収集・共有と災害情報の伝達 | →4(1) |
| ・防災関係機関が連携した実践的な応急救護 | →4(2) |
| ・魚津断層帯を震源とする地震のほか、津波や豪雨への対応 | →4(3)~(5) |
| ・防災意識の普及啓発 | →4(6) |

4 訓練の主な内容

(注) ①、②は、今回の訓練で新規・拡充する訓練項目

(1) 災害発生時の情報伝達訓練

- ・防災関係機関の間で迅速・的確な情報共有と対処方針の検討を行う合同調整所訓練
(入善町総合体育館)
- ① 被災市区町村応援職員確保システムによる対口支援の調整訓練
- ① 北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅との乗客避難にかかる情報伝達・調整訓練
- ① 公共ブロードバンド移動通信システムを活用したドローン(空撮)による情報収集・伝送訓練
(宮崎漁港等)
- ・県消防防災ヘリコプターによる被害状況調査・映像伝送訓練 (宮崎漁港)
- ② 行政による臨時災害放送局の開局と災害広報訓練 (入善総合体育館)

(2) 防災関係機関等による実践的な応急救護等訓練

- ① 海上自衛隊と消防が連携したDMAT海上輸送訓練
- ・地震により倒壊したブロック塀や家屋、閉じ込められた車両からの救出訓練
(入善町総合体育館、黒部市総合公園、宇奈月中学校)
- ・DMAT、^{ジェーマット}JMAT等による医療救護訓練 (入善町総合体育館、黒東小学校)
- ・県消防防災ヘリ、県警ヘリ、県ドクターヘリによる緊急搬送訓練
(入善町中央公園、黒部市総合公園)
- ・県災害救援ボランティア本部及び市町村災害救援ボランティアセンターの設置・運営訓練
(入善町総合体育館、宇奈月中学校、やまざき紅悠館)

(3) 避難訓練、避難所開設・運営等訓練

- ① 5段階の警戒レベルを用いた住民避難訓練 (宇奈月中学校周辺)
- ② 地震・津波による住民等の避難訓練 (入善町全域、黒部市生地・石田・^{おひたて}下立地区、朝日町山崎地区・大屋町内会)
- ・避難所での支援物資や医薬品の搬送・受入れ訓練 (黒東小学校、黒部市総合公園、宇奈月中学校、やまざき紅悠館)
- ・民生委員等による避難行動要支援者との同行避難訓練 (宇奈月中学校、やまざき紅悠館)
- ・外国人被災者に配慮した災害多言語支援センター設置・運営訓練 (黒部市総合体育センター)

(4) 緊急物資輸送訓練

- ① 伏木海上保安部・倉庫協会・トラック協会等が連携した救援物資の緊急輸送訓練
国支援物資→海上保安部巡視船で搬送 (宮崎漁港) →一次物資拠点 (県の広域物資拠点 (第一倉庫))
→二次物資拠点 (市の地域内輸送拠点 (黒部消防署、朝日町体育文化センター)) →各避難所
- ② 市物資拠点から各避難所までの物資輸送訓練
黒東小学校、宇奈月中学校、やまざき紅悠館
(黒部消防署→宇奈月中学校) (朝日町体育文化センター→やまざき紅悠館)

(5) 応急復旧訓練

- ・地震により被災したライフラインの応急復旧訓練

(入善町総合体育館、黒部市総合体育センター、宇奈月中学校、やまざき紅悠館)

(6) 災害防止・防災意識の啓発

- ・余震を想定した身の安全を守るための行動訓練（シェイクアウト訓練）（各会場）

- ・土石流体験装置などによる各種災害体験（宇奈月中学校など）

- ・住民による土のう製作体験（入善町総合体育館）

- ・木造住宅の耐震化促進や大型家具の固定化等の普及啓発（入善町総合体育館、黒部市総合体育センター）

- ・避難所生活でのエコノミークラス症候群の予防訓練（宇奈月中学校）

⑨県協定に基づく段ボールベッド組立訓練（やまざき紅悠館）

5 参加機関等

(1) 参加機関数 約130機関

<主な参加機関>

国関係：国土交通省富山河川国道事務所、国土交通省立山砂防事務所、陸上・海上・航空自衛隊、

伏木海上保安部、富山地方気象台、国土地理院北陸地方測量部、総務省北陸総合通信局

県関係：富山県、県警本部、入善警察署、黒部警察署、長野県、岐阜県

市町村関係：入善町、黒部市、朝日町、新川地域消防本部、富山県東部消防組合消防本部

指定公共機関等：JR西日本、中日本高速道路、NTT西日本、NTTドコモ、KDDI、

ソフトバンク、北陸電力

応援協定関係等：県トラック協会、県倉庫協会、全国災害救助犬協会、日本自動車連盟、北陸銀行、

柔道整復師会、LPガス協会

病院関係等：県立中央病院、富山大学付属病院、市立砺波総合病院、厚生連高岡病院、黒部市民

病院、富山赤十字病院、富山市民病院、高岡市民病院、日本赤十字社富山県支部

医療福祉関係：県社会福祉協議会、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県看護協会、

各市町社会福祉協議会

(2) 参加人員 約13,000人（うち住民 約11,200人）

(3) 車両等 車両約90台

ヘリコプター5機（県消防防災、県警、県ドクターヘリ、陸上自衛隊、航空自衛隊）